

学長式辞

佐々木 重人

今年度、本学の教育研究活動は、平常の状態になる見通しです。皆さんが思う存分、自己表現できる環境を提供していきます。

皆さんに意識していただきたいのは、今の自分のライバルは、他人ではなく、4年後の自分自身であるということです。目指す自分になるため、

今何をしなければならぬのかを考え、その決意に基づいて、一心不乱に努力してほしい。われわれは皆さんの志の実現のため、さまざまな支援プログラムを用意して、全力でサポートしていく所存です。

今年度、本学が特に力を入れている取り組みの第一は、「ソサエティ5.0」において活躍できる人材の育成です。将来、AIの回答の是非や採用の如何を適切に判断できるようにするため、まず、その土台となる主体的な学びを自らの力でを行い、自分自身を鍛えておかなければなりません。

ライバルは4年後の自分自身

昨年度から始まった「Siデータサイエンス教育プログラム」は今年度、応用レベルの科目群も履修できるようにになりました。ここで得られる数理データサイエンスAI知識は、それぞれの学部で修得する専門知識を「ソサエティ5.0」で活用するために大いに役立つことでしょう。

第二は、来年度から全学で導入される「SiUグローバル・スマートキャンパス」への対応についてです。キャンパス内、自宅・留学先を問わず、学修ポートフォリオを基盤としたさまざまなサポート機能やキャリア形成支援機能をパソコン上で受けることが想定されています。

最後に、SDGs目標16は「平和と公正をすべての人に」です。一日も早く、ウクライナに平和が戻ることを祈りつつ、学長式辞といたします。ご入学おめでとうございます。

(要旨)



理事長祝辞

松木 健一

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは、コロナ禍でもひとしおと思います。またご家族の皆様にも心

から喜びを申し上げます。入学式を迎え、喜びもひとしおと思います。またご家族の皆様にも心

してこられました。敬意を表するとともに、心から歓迎いたします。

本日、皆さんが新たな挑戦する姿勢を卒業するまで堅持し、実践して

皆さんも学業、スポーツ、国際交流、ボランティア活動などさまざまな分野で挑戦してください。本学は皆さんを支援する豊富なシステムを用意しており、全力で支援し続けます。臆せず、怯まず、果敢に目標に向かって挑戦してください。

勇気もって目標に挑戦を

の目であり、これから専修人として学問の修練に励むという誓いの目でもあります。

学生生活で重要なことは、何を学ぶか、そして何に打ち込むかです。目標を立て、自分の将来像を描き、自らの能力を

経営者のドラッカーは、18歳のとき、イタリアのオペラ作曲家ヴェルディによる次の言葉に出会いました。「曲作りはいつも失敗してきた。だから、もう一度挑戦する必要がある」と。ドラック

皆さんが「社会知性」を備えた人材に成長し、再びこの武道館で専修大学を築立つその日を楽しみにしております。楽しく充実した学生生活を過ごされることを心から祈念します。

(要旨)



総長祝辞

日高 義博

本日、晴れて入学された皆さん、おめでとうございます。

皆さん、おめでとうございます。高校時代からコロナ禍にあって、大変

でしょう。それを支えた皆さん、おめでとうございます。夢がある人、あるいは何となく入学したという人もいるでしょう。しかし、これか

い。何をなそうとしているのでしょうか。夢がある人、あるいは何となく入学したという人もいるでしょう。しかし、これか

ければ、研究者としての道は開けなかったと思えます。検察官になるために法学部に入った私は、刑法の授業で、それまでの自分の考えがドミノ倒しのごとく倒れるような経験をしました。まさに魂の覚醒の一瞬であり

です。その土台をこれらの勉学で取得してください。専修大学での研究も教育も、全て建学の精神を土台にしてなされています。目指すところは、日本の柔軟な社会を支える人材を育成することにあります。第三者の目で見つめ、価値観の多様性を体験する。これがなければ多様性の確立はできません。

将来の土台作る4年間に

ら専修大学でどのような勉強をし、どのような人に出会えたかによって、皆さんの30年後が決まります。そうした大切な4年間だと思えます。

1966年、私も日本武道館で入学式を迎えました。専修大学に入らな

た。人との出会い、恩師との出会い、学問を通じての出会いによって皆さんは変わっていきます。

高校までの偏差値で自分を縛ってはいけません。みなぎる活躍が専修大学の発展につながります。健康を祈り、祝辞といたします。

(要旨)



新専任教員紹介

4月1日付で新たに18人が専任教員となった。氏名、職名、主な担当科目は次の通り。

Table listing 18 new faculty members with their names, titles, and departments. Each entry includes a photo placeholder and a note '都合により写真は掲載致しません'.